



LIGHT400

80LIGHT 400W/S バッテリーストロボ (TTL・HSS対応)

- この度は当商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
- 本書には組立、および、ご使用に関する大切なご案内が記載されております。本書を良くお読みの上、正しくご使用ください。
- お読みになった後は大切に保管し、必要な時にお役立てください。
- 保証対象品が含まれる場合、別添の保証書を良くお読みになり、本書と共に大切に保管してください。



お届け内容

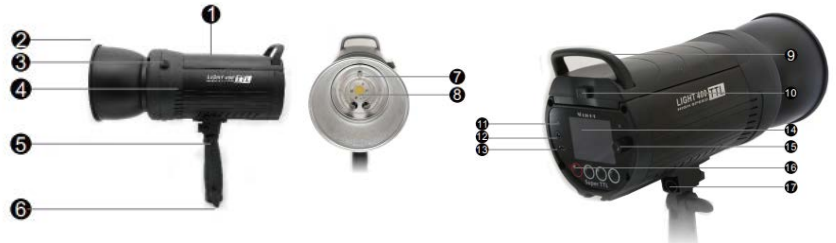
- LIGHT400 本体：1個
- LIGHT400 専用ハンドル付きバッテリー：1個
- 専用リフレクター (14cm)：1個
- 専用キャリングソフトケース：1個
- 専用充電器：1個

スペック

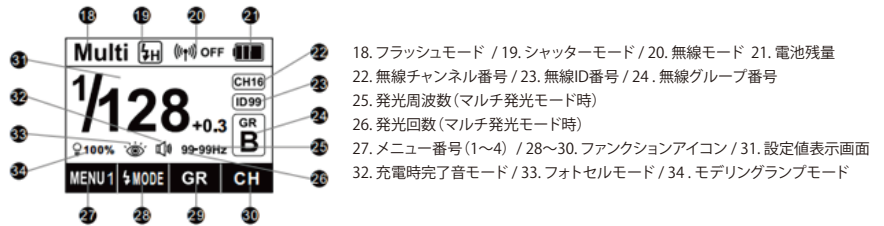
最大出力	400Ws [GN32 (付属14cmレフ使用)]
発光可能回数	約400回/フルパワー (電池新品時)
リサイクリングT	約3秒/フルパワー
調光範囲	7EV (1/1-1/128、1/3ステップ)
公称色温度	5500K±200K
モデリングランプ	10W LED (自動ON/OFF、自動/手動調光)
バッテリー	12V4400mAh ハンドル型
シンクロ方式	80LINK無線、有線、フォトスレーブ
シンクロモード	各社TTL・先幕・後幕・マルチ・HSS/FP
表示	カラーTFT液晶
冷却ファン	内蔵
接続部	16mmメスダボ、Bowens互換マウント
サイズ	220xΦ110mm (突起部含まず)
重量	1.8kg (バッテリー込)
外部端子	USB2.0 (MicroUSB、ファームウェア更新用)

▲ メーカー公称値です。

各部名称・機能



1. バッテリー
2. リフレクター
3. アクセサリーマウントロック
4. フラッシュ本体
5. チルトロックネジ
6. ライトスタンドロックネジ
7. フラッシュチューブ
8. 10W 白色LEDモデリングランプ
9. バッテリー一体型ハンドル
10. バッテリーロック・リリースボタン
11. フォトセル
12. シンクロソケット
13. マイクロUSBポート (ファームUP用)
14. カラーディスプレイ
15. 調整ダイヤル
16. 電源・モード切替スイッチ
17. アンブレラホール



18. フラッシュモード / 19. シャッターモード / 20. 無線モード 21. 電池残量
22. 無線チャンネル番号 / 23. 無線ID番号 / 24. 無線グループ番号
25. 発光周波数 (マルチ発光モード時)
26. 発光回数 (マルチ発光モード時)
27. メニュー番号 (1~4) / 28~30. ファンクションアイコン / 31. 設定値表示画面
32. 充電時完了音モード / 33. フォトセルモード / 34. モデリングランプモード

操作方法

起動前に

- 【DC駆動の場合】充電済みバッテリーをスロットに装着し、ロックがされたことを確認する (図1のロックボタンを確認)
- 【AC駆動の場合】**バッテリーを外し**、専用ACアダプターをソケットに装着する

1. 15mmのオスダボスタンド・ブーム等に固定
2. リフレクターやソフトボックス等のアクセサリをマウント部、アンブレラ穴に装着
3. 電源ボタンを2秒以上長押し
4. メニュー、モード、無線機能などを設定
5. 必要に応じ、チルトノブでお好みの角度に調整
6. 終了時は電源ボタンを2秒以上長押し
7. 落下しないよう本体とバッテリーハンドル (図2) を持ちながらバッテリーを取り外し、専用充電器にて充電 (電池の注意事項は次ページを参照)



メニュー/ボタン構成



電源・メニュー

- 【機能1】2秒間押し続けると電源のON/OFFが出来ます。
- 【機能2】短く押すとメニュー画面を切り替えることが出来ます。MENU1~5

MENU 1

- テスト**
発光テストを行えます。TTLモードの場合は固定出力での発光です。
- 出力調整**
通常状態でも出力調整ダイヤルを回せば調整できますが、その他機能を調整直後に強制的に出力値を選択状態にし、調整することが出来ます。
- モデリング**
モデリングOFF、100%を切り替えます。(Titan100利用時には、出力比例、マニュアルを含む計4モードを利用できます。)

MENU 2

- モード**
TTL、マニュアル、マルチ発光モードを切り替えます。TTLはTITAN100からのアクセスが可能です。
- GR** グループ
A~Fまでの6グループから選択します。複数の灯体にグループを振り分けることで、CH・IDが共通の複数台を個別にコントロールと同調が可能です。
- CH** チャンネル
CH0~15までの16チャンネルを調整ダイヤルで設定します。他の撮影者の使用チャンネルと混線しないよう、必要に応じて設定してください。CHが異なる灯体は同調しません。

MENU 3

- シンクロモード**
先幕、後幕、FP (HSS) 発光モードの内、現在有効な発光モードを表示します。
(TITAN100利用時に反映)
- スレープ**
光スレープのON/OFFを切り替えます。現在のスレープ状態を表示します。
- ブザー**
チャージ完了ブザーのON/OFFを切り替えます。現在のブザー状態を表示します。

MENU 4

- 無線**
無線機能のON/OFFを切り替えます。現在の無線状態を表示します。
- ID**
ID0~99までの100IDを調整ダイヤルで設定します。
IDが異なる灯体は同調しません。
- 液晶**
液晶のカラーモードを変更します。ボタンを押すごとに遷移します。

MENU 5

※マルチ発光モード時のみ表示可能

- フラッシュカウンター**
現在までの発光回数を表示します。新品時でもメーカー規定の検品体制により、カウンターが進んでいることがあります。
- マルチ発光回数**
マルチ発光モードにおいて、1周期の発光回数をダイヤルで設定します。
- マルチ発光周波数**
マルチ発光モードにおいて、発光周波数(発光間隔)を設定します。

特記事項

- 本製品の無線機能はJINBEI Vプロトコルと準互換です。CH, IDを0に設定すると、同じくCH0に設定したTRS-Vで発光させることが可能です。(X接点以下のSS限定)
- ハイスピードシンクロ (HSS) 対応の社外無線機を使う場合、多くの場合受信機をシンクロコードで本機に繋ぐ必要があります。その際、MENU3のシンクロモードをHSS発光モードに設定してください。TITAN100を使う場合はこの限りではありません。
- HSSモードは必要な時にのみ有効にしてください。本体及びフラッシュチューブの寿命を短めます。
- TITAN100使用時は、常にTITAN100の設定値が上書きされます。LIGHT400にて設定してもTITAN100には反映されません。

ファームウェアアップデート

当製品はユーザー様ご自身でのファームウェアのアップデートが可能です。以下の手順に沿って実行してください。

【用意するもの】

- PC
- データ転送用USBケーブル
(タイプAオス - マイクロBオス)
- アップデート用binファイル
(商品HPにてご案内予定)

【手順】

1. 本体とPCをUSBケーブルで接続し、電源を入れる (ブザーとモデリングが一瞬反応)
2. PC上に新たなりムーバブルディスクが認識される (中身は空)
3. リムーバブルディスク上にbinファイルをコピー (完了後、ブザーとモデリングが反応し本体が再マウントされる)
4. 本体のバッテリーを取り外し、ケーブルを抜く
5. バッテリーを取り付けて、起動確認を行う

▲ 安価なUSBケーブルを使うと、転送エラーによりファイルのコピーが出来ない、進行が遅いなどの症状が出ます。必ずデータ転送用の良質なケーブルをご使用ください。

電池に関する注意/ケア

- ▽AC駆動時は必ずバッテリーを外してください
- ▽電池を分解・改造することは禁止です。
- ▽電池の接点を短絡させることは禁止です。
- ▽水や火の中に電池を廃棄することは禁止です。
- ▽車内等60℃以上の高温にさらさないでください。
- ▽電池に過度の衝撃や振動を与えないでください。
- ▽他の目的のために電池は使用できません。
- ▽充電は乾燥した場所で行ってください。
- ▽専用充電器以外の充電器は使用禁止です。
- ▽充電器をコンセントにつないだ後に電池と充電器を接続します。
- ▽電池を使用しない場合は涼しく乾燥した場所に保管して下さい。
- ▽3ヶ月に1回は満充電してください。
- ▽子供の手の届かないところに保管してください。

本製品の電池は、ご購入後2、3回の完全な充放電サイクル後に最適なパフォーマンスを発揮します。400回程度の充放電が可能です。経年劣化で電池容量が減少します。電池の持ちが悪くなったら新しい電池に交換してください。

過度に高温や過冷却の場所には、電池容量は減少し、耐用年数が短くなります。適切な環境温度は約15℃~25℃です。過熱・過冷却時は、電池が頻りにシャットダウンします。環境温度が0℃よりも低い場合、電池が満充電でも機能しません。

過放電は最悪の場合電池を破壊します。電池容量が少ないまま使用を続けると電池が破損しますので、早めに充電を行ってください。

電池を保護するために、使用した後は10分ほど冷却して下さい
電池の脱着は本体の電源を切ってから行ってください。

ご利用上のご注意

◆無償保証期間は1年間です◆AC駆動時は電池を外してください◆製品の分解・改造は危険ですので絶対におやめください◆分解・改造などの跡がある個体はいかなる理由でも保障の対象外となります◆LEDは大変高温を発生します。アクセサリを使用時は◆明るいスタジオや日中の屋外ではフォトスレープの誤作動防止のため感度が下がります。別途リモコンか無線送受信機をお使いください◆排熱口をふさがないでください◆雲台のネジは締めすぎないようにご注意ください。ネジが破損する場合があります◆小さいお子様の手の届かない環境で運用してください◆ご使用方法や環境次第ではスペック通りの性能が引き出せない場合がございます◆無償保証期間は当製品の耐久性を保証するものではありませんのでご了承ください。